

オガサワラカワラヒワ保護増殖事業計画の策定について

(令和3年3月10日中央環境審議会答申 令和3年4月16日告示)

1 オガサワラカワラヒワ (*Chloris sinica kittlitzi*) の概要及び現状

- 国内希少野生動植物種
- 絶滅危惧 IA 類 (CR) (環境省レッドリスト 2020)
- 小笠原諸島に分布。近年確実に生息が確認されているのは母島・母島属島と南硫黄島のみ。
- 個体数はこの 20 年間で激減し、現在では推定で 200 個体程度との報告もある。
- 生息を圧迫する要因としては、ネズミ類及びノネコによる捕食被害、ネズミ類との食物資源の競合、外来植物の繁茂による餌となる実をつける樹木の減少、雛の餌の供給源となる乾性低木林の減少、台風や干ばつによる一時的な食物不足等が挙げられる。



2 オガサワラカワラヒワ保護増殖事業計画の概要

策定省庁	農林水産省・国土交通省・環境省
第1 事業の目標	自然状態で安定的に存続できる状態とすることを目標とする
第2 事業の区域	東京都小笠原諸島 及び 飼育下繁殖を行う区域
第3 事業の内容	1 生息状況等の把握 (生物学的特性の把握、生息状況/生息環境の調査・モニタリング、個体群の維持に影響を及ぼす要因の把握、等)
	2 生息地における生息環境の維持及び改善 (在来の森林植生の再生等による食物資源の確保、外来動物による影響の軽減、重要な生息地の巡視等)
	3 飼育下繁殖及び野生復帰
	4 普及啓発の推進
	5 効果的な事業の推進のための連携の確保